

打ち合わせ 会議録

標 題	令和6年度 第2回藤枝市地域公共交通会議 ふじえだまちなか居住機能向上共創プロジェクト推進分科会 議事録		
年月日	令和7年2月6日	出席者	藤枝市地域公共交通会議分科会委員 委員出席12名（内代理出席1名） 事務局：地域交通課
時 間	午後2時00分から 午後3時00分まで		
場 所	藤枝市役所特別会議室		
作成者	酒井 亜美		
打 ち 合 せ 等 内 容			
1 開 会			
2 分科会長挨拶			
3 議 案			
■第1号議案 ふじえだまちなか居住機能向上共創プロジェクト事業評価について			
・事務局より事業実施内容及び事業評価と今後の方向性の事務局案を説明			
<旧市街地活性化協議会 村松委員>			
15 ページ 乗合タクシー予約件数3,243件とあるが数値は想定通りだったか。目標値があったのか。			
<事務局>			
実証実験であるため、目標値は設定していない。			
<旧市街地活性化協議会 村松委員>			
想定より多かったか。			
<事務局>			
システム構築事業者（Community Mobility）からは、想定以上にアプリ利用者が多かったと聞いている。			
<旧市街地活性化協議会 村松委員>			
16 ページ 乗合タクシーの運行回数は、			
<事務局>			
7～12月までの総計約13,200回程度、月平均2,000～3,000回。暑い時期は利用が落ち込む。秋口は利用が多い。			
<旧市街地活性化協議会 村松委員>			
13,200回どのくらいお金が動いているのか。乗合タクシーの運営の収益とのバランスはどうか。			
<事務局>			
乗合タクシーについては、元々不採算のバス路線から転換しているため赤字が前提。収支率を算定して15%を目標にしているが、近年タクシー料金の値上げ等で10～15%程度で推移している。収支率を上げるよう、乗合率を高めることを目標としている。			
<社会福祉協議会 小澤委員>			
16 ページ シェアサイクルのタイトルは利用者数だが、説明は利用回数のどちらか。			
<事務局>			
延べ利用回数			
<社会福祉協議会 小澤委員>			
ステーションを3箇所増加しているため、利用回数が増加することは当たり前であるため、利用者数がどの程度増えているのかといった視点で実績を見ていく必要があるのではないかと。シェアサイクル事業は地球温暖化・健康づくりにも大変効果的な施策の一つとして、引き続き利用者が増加するよう精力的に行っていただきたい。			
<事務局>			
引き続き㈱まちづくり藤枝と協議し、効果的なステーションの配置等を検討していきながらシェアサイクル事業を実施していく。			
<社会福祉協議会 小澤委員>			
18 ページ 5番 サービスを利用して、乗降時の負担が減少したと認められる人の比率6.52%とあるが、この式で「負担が減少した」と判断できるものか。			
<事務局>			
効果測定の指標は国指定の項目に近いもの。算定式は国から示されているものではない。5番の数値については再度検討し報告していく。			
<健康福祉部 牧田委員>			
シェアサイクルステーションを新設し、事故等はないか。			
<事務局>			
事務局としては把握していない。			
<㈱まちづくり藤枝 栗田委員>			
既存のステーションでは事故があるが、新設ステーションでは問題ない。			
<会長>			

コールセンターの場所は市内ではないのか。

<事務局>

兵庫県で設置しているため、土地勘が全くないためガイドブック等を見て対応している。これから問い合わせを蓄積して経験していけば問題なく対応できると考える。引き続き、受託者側へ円滑な対応ができるようお願いをしていく。

<会長>

9ページ 谷稲葉地区に延伸したことで、利用した方からはどのような声があったか。

<事務局>

毎月1往復利用している方は、車の運転ができず外出が大変だったが、通院したり買い物したりしてありがたい。谷稲葉サロンの参加者は、体験会を通して利用の仕方がわかり、12月にお買い物ツアーを行った。今後も年に数回やっていきたいとの声がある。

<旧市街地活性化協議会 村松委員>

乗合タクシー利用ガイドブックほどの頻度で配られるのか。

<事務局>

毎年バスマップ時刻表を4月に配布している。今回の変更を加えたバスマップ時刻表を今年の4月に全戸配布する予定。

<旧市街地活性化協議会 村松委員>

ガイドブック一番裏のページについて、お出かけを促すようなイベント等の情報を組み入れたほうがいいのか。観光協会もHPで体験コンテンツに力を入れているので、観光協会のHPに飛ぶような仕組みもいいのか。

<事務局>

シェアサイクルのマップは例年掲載している。今後各種イベント等も発信できるように、部局連携してやっていく。

<志太交通 鈴木委員>

コールセンター業務がなくなって、会社として楽になった部分もあるが、月間の実績について市からのデータと会社で管理しているデータの擦り合わせに時間がかかるため改善して欲しい。

<事務局>

市からのデータと会社で管理しているデータの差異が発生する理由を把握し、システム構築事業者と確認調整していきたい。引き続き情報共有していきたい。

～意見を踏まえたまとめ～

<事務局>

20ページのシェアサイクルについて利用促進を入れながら、ステーションの効率的な配置を盛り込む。バスマップについては、他部局連携し情報発信していくことを今後の方向性として盛り込む。システム・コールセンターについては、でタクシー事業者と情報共有しながら機能改善していくと盛り込む。

<会長>

事務局からの報告のあった内容でよいか。

<委員>

異議なし

4 その他

・事務局より…来年度は本市の地域公共交通計画の策定年

4月16日午前10時～、6月24日午後2時～ 開催予定

5 閉 会

(以上)